# 福祉サービス第三者評価

〔令和5年度〕

評価結果報告書

株式会社MIRATZ MIRATZ目白台保育園

評価機関 有限会社エテルノ

《事業所名:株式会社MIRATZMIRATZ目白台保育園》

# 1 理念・方針 (関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定)

事業者が大切にしている考え(事業者の理念・ビジョン・使命など)のうち、

特に重要なもの(上位5つ程度)を簡潔に記述

(関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定)

#### (理念)

- ・未来の希望に向かって発展・向上する明るい元気な子どもを育む
- ・心豊かなエコ環境と優しい地域社会に生き生きと共生する子どもを育む
- ・みんなを親しみ愛し、太陽のように温かい心を持った子どもを育む

#### (方針)

- ・丁寧な保育を実践し、豊かな人間性を持った子どもの育成をする心と体の自立を促し、生きる力をつける (目標)
- ・健康な心と身体をつくる
- 友達といっぱい遊ぶ
- ・自分の思い素直に表現する

#### (ビジョン)

- ・地域で最も貢献する組織
- ・職員が最も輝ける組織
- ・地域で最も愛される組織

# 2 期待する職員像 (関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上)

- (1)職員に求めている人材像や役割
- ・他者からのアドバイスや指摘事項を聞ける素直さがあること
- ・新しい取り組みへの意欲を持つこと
- 情緒が安定し、自分の機嫌を自分の責任で取ることが出来る理性を持つこと

# (2)職員に期待すること(職員に持って欲しい使命感)

- ・自己の振り返りと課題設定をして保育力を向上させていくこと
- ・常に子どもの利益はどこにあるかを意識し追求していくこと
- 経験年数にと捉われない初心の意識を持つこと

《事業所名: 株式会社MIRATZMIRATZ目白台保育園》

保育園に通っている園児5世帯6人に対して調査を行った。同 -保育園に2名以上の園児を預けている場合には、年齢の一 番低い園児に対して回答して頂いた。

調查対象

保護者にはウェブ調査回答用URLおよびQRコード、IDを配付 して、回答をウェブ上で収集した。外国語世帯のみ調査票の 直接郵送にて回収した。結果は選択式・自由記述式ともに園

調査方法

に報告し、自由意見には回答者の匿名性に配慮した処理を 適宜行った。

| 利用者総数               | 6    |
|---------------------|------|
| 利用者家族総数(世帯)         | 5    |
| 共通評価項目による調査対象者数     | 5    |
| 共通評価項目による調査の有効回答者数  | 4    |
| 利用者家族総数に対する回答者割合(%) | 80.0 |

#### 利用者調査全体のコメント

総合的な感想として園に対する満足度は、「大変満足」100.0%、「満足」.0%の計100.0%であった。 自由意見では、「いつも子どもを愛情たっぷり優しく丁寧に保育してくださりありがとうございます。とても信頼できる保育 園なので、母も安心して預けて働くことができます。」など、子どもや保護者への配慮など職員の対応、日常の保育など に対する感謝の声が寄せられている。向上または検討を望む意見としては、保護者とのコミュニケーションに関すること や保育内容、職員の子どもや保護者への対応、設備に関することなど、回答者個々の考え方や気になる点が寄せられ ている。設問別では、「心身の発達」「興味や関心」「食事」「自然や社会との関わり」「保育時間の変更」「安全対策」「行 事日程」「信頼関係」「整理整頓」「接遇」「病気やけが」「気持ちの尊重」「プライバシーの保護」「保育内容の説明」「不満 や要望の対応」などの17問中15問が80%以上の支持を得ており、50%を下回ったのは「トラブル対応」「苦情窓口」の2問 である。

#### 利用者調查結果

| 用名詞生和朱   |    |               |     |            |
|--|----|---------------|-----|------------|
| 共通評価項目   |    | 実             | 数   |            |
| コメント   | はい | どちらとも<br>いえない | いいえ | 無回答<br>非該当 |
| 1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか                          | 4  | 0             | 0   | 0          |
| 「はい」の回答は100.0%であった。<br>自由意見では、特に参考になるような意見は寄せられていなかった。 |    |               |     |            |
| 2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか                  | 4  | 0             | 0   | 0          |
| 「はい」の回答は100.0%であった。<br>自由意見では、特に参考になるような意見は寄せられていなかった。 |    |               |     |            |
| 3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか                            | 4  | 0             | 0   | 0          |
| 「はい」の回答は100.0%であった。<br>自由意見では、特に参考になるような意見は寄せられていなかった。 |    |               |     |            |

| 4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか  | 4      | 0      | 0     | 0     |
|---|--------|--------|-------|-------|
| 「はい」の回答は100.0%であった。<br>自由意見では、「天気が良ければできるだけ公園など外遊びをしてくれている」という声が行       | 寄せられて  | いた。    |       |       |
| 5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか  | 4      | 0      | 0     | 0     |
| 「はい」の回答は100.0%であった。<br>自由意見では、特に参考になるような意見は寄せられていなかった。                  |        |        |       |       |
| 6. 安全対策が十分取られていると思うか  | 4      | 0      | 0     | 0     |
| 「はい」の回答は100.0%であった。<br>自由意見では、特に参考になるような意見は寄せられていなかった。                  |        |        |       |       |
| 7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か  | 4      | 0      | 0     | 0     |
| 「はい」の回答は100.0%であった。<br>自由意見では、特に参考になるような意見は寄せられていなかった。                  |        |        |       |       |
| 8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか  | 4      | 0      | 0     | 0     |
| 「はい」の回答は100.0%であった。<br>自由意見では、「先生から声をかけてくれることもあり、子育てについて話しやすい雰囲気<br>いた。 | を作ってくれ | っている」と | いう声が寄 | ぎせられて |
| 9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか   | 4      | 0      | 0     | 0     |
| 「はい」の回答は100.0%であった。<br>自由意見では、特に参考になるような意見は寄せられていなかった。                  |        |        |       |       |
| 10. 職員の接遇・態度は適切か  | 4      | 0      | 0     | 0     |
| 「はい」の回答は100.0%であった。<br>自由意見では、特に参考になるような意見は寄せられていなかった。                  |        |        |       |       |

| 11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか   | 4      | 0     | 0     | 0  |
|--|--------|-------|-------|----|
| 「はい」の回答は100.0%であった。<br>自由意見では、特に参考になるような意見は寄せられていなかった。                     |        |       |       |    |
| 12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか  | 2      | 2     | 0     | 0  |
| 「はい」の回答は50.0%、「どちらともいえない」の回答は50.0%であった。<br>自由意見では、特に参考になるような意見は寄せられていなかった。 |        |       |       |    |
| 13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか  | 4      | 0     | 0     | 0  |
| 「はい」の回答は100.0%であった。<br>自由意見では、特に参考になるような意見は寄せられていなかった。                     |        |       |       |    |
| 14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか   | 4      | 0     | 0     | 0  |
| 「はい」の回答は100.0%であった。<br>自由意見では、特に参考になるような意見は寄せられていなかった。                     |        |       |       |    |
| 15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか  | 4      | 0     | 0     | 0  |
| 「はい」の回答は100.0%であった。<br>自由意見では、「送迎時に話す時間を取ってくれるので、保育の様子を聞いたり相談もして           | らすい」とい | う声が寄せ | られていた | €. |
| 16. 利用者の不満や要望は対応されているか   | 4      | 0     | 0     | 0  |
| 「はい」の回答は100.0%であった。<br>自由意見では、「不満や要望には今まで迅速に回答をしてくれている」という声が寄せられ           | ていた。   |       |       |    |
| 17. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか                                   | 2      | 2     | 0     | 0  |
| 「はい」の回答は50.0%、「どちらともいえない」の回答は50.0%であった。<br>自由意見では、特に参考になるような意見は寄せられていなかった。 |        |       |       |    |

#### I 組織マネジメント項目(カテゴリー1~5、7)

| No. |                                       | 共通評価項目   |       |
|-----|---------------------------------------|--|-------|
|     |                                       | カテゴリー1   |       |
| 1   | リーダーシップと意思決定                          |  |       |
|     |                                       | サブカテゴリー1(1-1)  |       |
|     | 事業所が目指し <sup>・</sup>                  | ていることの実現に向けて一丸となっている サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況  | 7/7   |
|     | 評価項目1<br>事業所が目指し <sup>.</sup><br>している | ていること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知 <b>評点(〇〇)</b>   |       |
|     | 評価                                    | 標準項目   |       |
| ĺ   | <b>●</b> あり <b>○</b> なし               | 1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている                                   | 〇非該当  |
|     | <b>③</b> あり <b>○</b> なし               | 2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている                            | 〇 非該当 |
|     | 明し、事業所をリ                              |  |       |
| Į   | 評価                                    | 標準項目   |       |
|     | <ul><li>あり 〇 なし</li></ul>             | 1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている                                | 〇 非該当 |
|     | <b>⑤</b> あり <b>○</b> なし               | 2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と<br>責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している | 〇 非該当 |
|     |                                       | いて、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえ<br>・の内容を関係者に周知している <b>評点(〇〇〇)</b>                                     |       |
|     | 評価                                    | 標準項目   |       |
| ĺ   | <b>⑤</b> あり <b>○</b> なし               | 1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている  | 〇 非該当 |
| Ì   | あり ○ なし                               | 2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している   | 〇 非該当 |
|     | <ul><li>あり ○ なし</li></ul>             | 3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている   | 〇 非該当 |
|     |                                       | カテゴリー1の講評  | •     |

#### 理念や基本方針などを明確化し、職員の理解を深めるための取組が行われている

理念や基本方針など職員の理解を深めるために、事務室の目につくところに掲示し、変更や強調の必要性が生じるごとに職員会議等で伝え、確認している。また、職員との面談時には一人一人に対して理念の理解度を確認している。理解が難しい部分については、事例を挙げたり実践例とすり合わせながら説明し、理解を深めている。運営委員会を通じて、社会情勢やその時注目されている保育に関するニュースを取り上げ、自園の理念に照らし合わせて事例を伝えている。利用者や家族等は定期的な会合の場における説明などを通じて理念の共有が図られている。

#### 経営層のリーダーシップと事業所理念の浸透に取り組んでいる

自らの役割と責任は理念に含まれる取組が必要となった時に、職員会や昼礼を通して伝え、要点をまとめて分かり易く伝えている。経営層は、事業所が目指していることを実現に向けた自らの役割と責任に基づいて、体制を組み、共通意識の形成や環境の整備などを含め、事業所が目指している形や職員にこうあってほしい姿などを伝え、事業所を牽引している。以上の取り組みを通じて、本事業所は経営層のリーダーシップと事業所の理念の浸透を図っている。これらの取組は、園全体が一丸となって理念を共有し、具体的な行動に移すための取組となっている。

#### 意思決定の透明性と信頼関係の構築は、重要な案件の対応と伝達で行っている

重要な案件が発生した際には、まず園長の意向を本部と行政に確認するという手順が確立されている。主任との打ち合わせを通じて、職員や保護者への周知が行われている。また、案件に対して決定した内容の、何故決定しなければならないか、決定した内容が正しい根拠に基づいていることを伝えることで、職員や保護者の納得と安心に繋がる取組が行われている。これにより、意思決定の透明性が確保され、信頼関係の構築に寄与している。その都度、各家庭に手紙を配布し、口頭での説明や玄関の掲示などを通じて、意思決定の内容を関係者に伝えている。

|                                | カテゴリー2   | 2  |                  |
|--------------------------------|--|--|------------------|
| 事業所を取り巻                        | 〈環境の把握・活用及び計画の策定と実行  |  |                  |
|                                | サブカテゴリー1   | (2-1)  |                  |
| ている                            | く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出し  | サブカテゴリー毎の<br>標準項目実施状況  | 6/6              |
| 評価項目1<br>事業所を取り巻<br>ている        | く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出し  | 評点(00000)  |                  |
| 評価                             | 档  | 進項目  |                  |
| <ul><li>あり ○ なし</li></ul>      | 1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけによ  |  | 〇 非該当            |
| <ul><li>あり ○ なし</li></ul>      | 2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している  |  | 〇非該当             |
| <ul><li>あり ○ なし</li></ul>      | 3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを担  | 握している  | O 非該当            |
| <ul><li>あり ○ なし</li></ul>      | 4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)につい  | て情報を収集し、課題やニーズを把握している  | O非該当             |
| あり ○ なし                        | 5. 事業所の経営状況を把握・検討している  |  | O非該当             |
| <ul><li>あり () なし</li></ul>     | 6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として  | 対応すべき課題を抽出している   | 〇非該当             |
|                                |  | (2-2)  |                  |
| _<br>実践的な計画策                   | また。<br>定定に取り組んでいる  | ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・   | 5/5              |
|                                | ていること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現<br>期計画及び単年度計画を策定している  | 評点(〇〇〇)  |                  |
| 評価                             | · 持  | 準項目  |                  |
| <ul><li>あり ○ なし</li></ul>      | 1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジー画を策定している  | ョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計   | O非該当             |
| あり ○ なし                        | 2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している   |  | 〇 非該当            |
| <ul><li>あり () なし</li></ul>     | 3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている   | 1  | 〇非該当             |
| 評価項目2<br>着実な計画の実               | <br>ミ行に取り組んでいる   | 評点(〇〇)   |                  |
| 評価                             |  | ·<br>逐準項目  |                  |
| <b>⑤</b> あり <b>○</b> なし        | 1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針で  | など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、   | 〇非該当             |
| <ul><li>あり ○ なし</li></ul>      | 2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位がいる   | (ど)、必要に応じて見直しをしながら取り組んで  | 〇非該当             |
|                                | カテゴリー2の講評  |  |                  |
| 事業所側からの<br>2回のアンケート<br>決め事をする時 | 屋はアンケートと全員参加の意見交換を通じたサ<br>)働きかけにより、利用者の意向を利用者アンケートなどのトによって保護者の要望、意見を把握している。また、日頃よば全員の意見の確認を行い、園にとってどうありたいか、と現状や課題に対する職員の考えや、職場環境に対する意見 | 多様な方法で把握することに取り組んでいる。具体<br>り職員の意向、意見を把握することに取り組んで<br>うあるべきかを話し合っている。また、把握した情 | いる。一つの<br>報を取りまと |
| 地域と保護者                         | 音のニーズ把握と福祉事業動向の理解を行ってし   | <b>\</b> 3   |                  |

地域の福祉ニーズの把握は地域での聞き取りや、地域懇談会などへの参加等を通して行われ、事業所で使いやすいように整理されている。具体的には、在園保護者や見学者からの意見を聞き逃さずに、保護者のニーズがどんな分野にあり、どんな分野で悩んでいるかを把握している。福祉事業全体の動向の把握は、本部からの保育に関連する新聞記事に目を通して行い、保育業界の昨今問題提起されていることを伝えている。また、より高い成果が得られるように事業所内外の先進事例・失敗事例を参考にする取組も行っている。

# 利用児数減少への対応と目標達成に向けて、手探りから計画的な進行へ移行している

昨年度3月の段階で今年度非常に子どもの数が少ないことが分かった、その時点で職員一同は取組について検討を重ねてきた。これほどの小人数はこれまでに経験がなく、手探りではあったが、目の前のできることをする視点と、長期的に見据えて行動を起こし始めるという視点で取り組んでいる。計画推進にあたり、半期・月単位などあらかじめ定められた時期、方法で進捗状況を確認し、その進み具合や新たな環境変化などを踏まえ、必要に応じて見直しや修正等をしながら、着実に目標達成に向けて取り組んでいる。

|                                | カテゴリー3  |       |  |  |  |  |
|--------------------------------|---|-------|--|--|--|--|
| 経営における社                        | 会的責任  |       |  |  |  |  |
|                                | サブカテゴリー1(3-1)   |       |  |  |  |  |
| 達成に取り組ん                        | :人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その サブカテゴリー毎の<br>に取り組んでいる 標準項目実施状況 2                  |       |  |  |  |  |
|                                | ービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理<br>『守されるよう取り組んでいる <b>評点(〇〇)</b>                         |       |  |  |  |  |
| 評価<br><b>●</b> あり <b>○</b> なし  | 標準項目 1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるように取り組んでいる | 〇非該当  |  |  |  |  |
| <ul><li>あり ○ なし</li></ul>      | 2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるように取り組み、定期的に確認している。                     | 〇非該当  |  |  |  |  |
|                                | サブカテゴリー2(3-2)   |       |  |  |  |  |
| 利用者の権利擁                        | 護のために、組織的な取り組みを行っている サブカテゴリー毎の<br>標準項目実施状況                                      | 4/4   |  |  |  |  |
| 評価項目1<br>利用者の意向(カ<br>対応する体制を   | 意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に<br>整えている <b>評点(〇〇)</b>                                  |       |  |  |  |  |
| 評価                             | 標準項目  |       |  |  |  |  |
| <b>⊚</b> あり <b>○</b> なし        | 1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている                              | 〇非該当  |  |  |  |  |
| <ul><li>あり () なし</li></ul>     | 2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある                                       | 〇非該当  |  |  |  |  |
| 評価<br><b>③</b> あり <b>()</b> なし |   | 〇非該当  |  |  |  |  |
| <ul><li>あり ○ なし</li></ul>      | 2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として<br>関係機関と連携しながら対応する体制を整えている     | 〇非該当  |  |  |  |  |
|                                | サブカテゴリー3(3-3)   |       |  |  |  |  |
| 地域の福祉に役                        | 立つ取り組みを行っている サブカテゴリー 毎の 標準項目実施状況  | 5/5   |  |  |  |  |
| 評価項目1<br>透明性を高め、±              | 也域との関係づくりに向けて取り組んでいる <b>評点(〇〇)</b>  |       |  |  |  |  |
| 評価<br><b>●</b> あり <b>○</b> なし  | 標準項目 1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる                            | 〇 非該当 |  |  |  |  |
| <ul><li>あり ○ なし</li></ul>      | 2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している                                     | 〇非該当  |  |  |  |  |
| 評価項目2<br>地域の福祉ニー               | ズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている<br><b>評点(〇〇〇</b> )  |       |  |  |  |  |
| 評価                             | 標準項目  |       |  |  |  |  |
| <b>⑥</b> あり <b>○</b> なし        | 1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている                                  | 〇非該当  |  |  |  |  |
| <ul><li>あり ○ なし</li></ul>      | 2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している                    | 〇 非該当 |  |  |  |  |
| <ul><li>あり 〇 なし</li></ul>      | 3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる                                      | 〇非該当  |  |  |  |  |

# カテゴリー3の講評

#### 透明性の高い組織運営と子どもの権利尊重に向けた保育園の取組が行われている

守るべき法律、規範、倫理等については、法人の運営規則、個人情報保護制度、守秘義務規程、服務規程等が制定されている。透明性 を確保するための組織運営として、法人の園長会が設けられており、当法人は福祉サービスの第三者評価を既に実施し、その結果を公 表している。また、保育士協会推奨の虐待防止のセルフチェックシートを活用し、子どもの権利の尊重について自己チェックと反省を行っ ている。子ども、保護者、職員間への態度と言葉掛けについて、常に全員が意識して適切であるべく研修や日常での指導を行っている。

#### 虐待に関する対応と自己改善の取組は、園の防止対策と利用者の安全確保に努めている

当園では、子ども、保護者、職員間の態度と言葉掛けについて、全員が常に意識して適切であるべく研修や日常での指導に取り組んでいる。また、セルフチェックシートの活用により、課題点の特定と改善策の展開が行われており、自己評価と自己改善のサイクルが確立され、組織の成長と向上を促進している。さらに、利用者との日常的な関わりの中で、自覚の有無にかかわらず行われる不適切な対応及び虐待について、組織として防止対策を検討し、対策を講じている。これは、利用者の安全と信頼を確保するための重要な取組として評価できる。

# 園の運営に関わる地域の動向やニーズ把握に熱心に取り組んでいます

地域の福祉ニーズを把握するため、行政主催の園長会、園長研修、看護師研修、栄養士研修に参加して情報交換・収集を行っている。 園では地域の子育て世帯の方々に向け児童館への出張保育を実施しており、参加された保護者から子育てに関する様々なニーズを把握している。また、地域ネットワーク内での共通課題に対して、解決に向けて協働して具体的な取組を行うための体制が整っており、区内の園長とのグループワークや研修を通じて、職員全員が共通課題に対する理解を深め、解決策を模索している。

|                           | カテゴリー4   |       |
|---------------------------|--|-------|
| リスクマネジメン                  | <b>,</b>   |       |
|                           | サブカテゴリー1(4-1)  |       |
| <b>Jスクマネジメン</b>           | トに計画的に取り組んでいる サ <b>ブカテゴリー毎の</b> 標準項目実施状況   | 5/5   |
| 評価項目1<br>事業所としてリス         | クマネジメントに取り組んでいる<br><b>評点(〇〇〇〇</b> )  |       |
| 評価                        | 標準項目   |       |
| <b>●</b> あり <b>○</b> なし   | 1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている | 〇 非該当 |
| <b>●</b> あり <b>○</b> なし   | 2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている   | 〇非該当  |
| <b>●</b> あり <b>○</b> なし   | 3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している  | 〇 非該当 |
| <ul><li>あり 〇 なし</li></ul> | 4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる                         | 〇非該当  |
| <b>●</b> あり <b>○</b> なし   | 5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに<br>取り組んでいる                             | 〇非該当  |
|                           | サブカテゴリー2(4-2)  |       |
| 事業所の情報管                   | 理を適切に行い活用できるようにしている サブカテゴリー毎の<br>標準項目実施状況  | 4/4   |
| 評価項目1<br>事業所の情報管          | 理を適切に行い活用できるようにしている<br><b>評点(〇〇〇〇)</b>   |       |
| 評価                        | 標準項目   |       |
| <b>⑥</b> あり <b>○</b> なし   | 1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が<br>理解し遵守するための取り組みを行っている                | 〇 非該当 |
| あり ○ なし                   | 2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している  | 〇非該当  |
| <ul><li>あり 〇 なし</li></ul> | 3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている                                      | 〇非該当  |
| <b>⑥</b> あり <b>○</b> なし   | 4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している                  | 〇非該当  |
|                           | L = _2u  |       |

#### カテゴリー4の講評

# 子どもの安全と人権を最優先に改善に取り組み、そして保育者の自己向上に繋げている

当園では、優先順位の周知に至っていなかった点を改善するための取組が行われている。安心・安全で安定した保育園であるために、物的環境や人的環境の質の向上を妨げる要因がある場合、速やかに芽を摘み取るという取組として、ヒヤリハットの活用により、室内環境の安全を確保している。さらに、保育者の自己向上の研修と高い意識により、虐待や不適切な保育が皆無になることを目指し、子どもの人権を守るという取組も行っており、組織全体が子どもの安全と人権を最優先に考え、そのための具体的な行動をとっている。

# 継続的な訓練と安全対策として当園の災害対応と事業継続計画への取組が行われている

防災や不審者対応、耐震や水害等の災害に対応する訓練等は、避難訓練、不審者訓練、通報訓練、消火訓練、引き渡し訓練、フェアキャストの配信訓練など、様々な訓練や演習が継続的に実施され、職員等がそれぞれの役割に応じて対応できる体制が整っている。また、ヒヤリハットの活用と適切な人員配置により、子どもの安全の確保が日常的に行われている。各種の災害対応マニュアルは整備されているが、BCP(事業継続計画)としての策定や周知、訓練の実施が期待される。

# 園内での個人情報の保護、遵守について万全を期するように配慮している

個人情報保護保護方針が定められており、それに沿っての情報保護に力を入れている。入園時に個人情報確認書で個人情報の利用目的や開示の是非等の確認を行っており、職員にも就業規則で個人情報の遵守を規定し、雇用契約書にもその旨の誓約を得ている。また、全体職員会議や各ミーティングでも個人情報保護の重要性について説明を行うとともに、個人記録は鍵のかかるロッカーへの収納、暫時IT化を進めているのでパソコン使用におけるパスワードの設定や電磁記録類の持ち出し禁止等の措置を行っている。

|                           | カテゴリー5   |             |  |  |
|---------------------------|--|-------------|--|--|
| 職員と組織の                    | <b>員と組織の能力向上</b>   |             |  |  |
|                           | サブカテゴリー1(5-1)  |             |  |  |
| 事業所が目指                    | している経営・サービスを実現する人材の確保・育 サブカテゴリー毎の  | 10 /10      |  |  |
| 成・定着に取り                   | 組んでいる 標準項目実施状況   | 12/12       |  |  |
| 評価項目1<br>事業所が目指           | していることの実現に必要な人材構成にしている   |             |  |  |
|                           | 評点(〇〇)   |             |  |  |
| 評価                        | 標準項目   |             |  |  |
| 20.                       | 1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している  | 9.          |  |  |
| <ul><li>あり () な</li></ul> |  | 〇非該当        |  |  |
|                           | 2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り  | 40          |  |  |
| <ul><li>あり 〇 な</li></ul>  | 組んでいる  | 〇 非該当       |  |  |
| 評価項目2<br>事業所の求め           | る人材像に基づき人材育成計画を策定している  |             |  |  |
| デネ川の小の                    | 部点(OO)   |             |  |  |
| =                         |  |             |  |  |
| 評価                        | #準項目<br>1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周   |             |  |  |
| <ul><li>あり 〇 な</li></ul>  | かけんプレス   | O 非該当       |  |  |
| 9 007 0 10                |  | O SFEE      |  |  |
| A th O to                 | 2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している  | O =1==+ 1/  |  |  |
| あり 〇 な                    | J. Millian Chines as a   | 〇非該当        |  |  |
| 評価項目3                     | る人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる   |             |  |  |
| 事未所の水の                    | る人が豚を始まえた戦員の自成に取り組んでいる 評点(〇〇〇〇)  |             |  |  |
|                           |  |             |  |  |
| 評価                        | 標準項目<br>1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している   |             |  |  |
| A th A t                  |  | O -11-5+ 1/ |  |  |
| あり 〇 な                    |  | 〇 非該当       |  |  |
| 5. 1                      | 2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している  | 20.         |  |  |
| <ul><li>あり 〇 な</li></ul>  |  | 〇 非該当       |  |  |
|                           | 3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している   |             |  |  |
| <ul><li>あり 〇 な</li></ul>  |  | 〇 非該当       |  |  |
|                           | 4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行って  |             |  |  |
| <ul><li>あり () な</li></ul> | いる   | 〇 非該当       |  |  |
| 評価項目4                     |  |             |  |  |
|                           | 向け、職員の意欲向上に取り組んでいる   |             |  |  |
|                           | 評点(〇〇〇〇)   |             |  |  |
| 評価                        | 標準項目   |             |  |  |
|                           | 1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金、昇進・昇格等)・称賛などを連動させている  |             |  |  |
| <ul><li>あり 〇 な</li></ul>  |  | 〇 非該当       |  |  |
|                           | 2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職   |             |  |  |
| <ul><li>あり O な</li></ul>  | 場づくりに取り組んでいる   | O非該当        |  |  |
| * 12                      | 3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる  | 57          |  |  |
| <ul><li>あり 〇 な</li></ul>  | Control of the Contro | O非該当        |  |  |
| 9 00 0 %                  |  | O 9FBX SI   |  |  |
| 6 +b O +                  | 4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている   | O           |  |  |
| あり 〇 な                    |  | O非該当        |  |  |
|                           | サブカテゴリー2(5-2)  |             |  |  |
| 組織力の向上                    | に取り組んでいる サブカテゴリー毎の   | 3/3         |  |  |
| 評価項目1                     | 標準項目実施状況   |             |  |  |
|                           | に向け、組織としての学びとチームワークの促進に  |             |  |  |
| 取り組んでいる                   | <b>評点(OOO)</b>   |             |  |  |
| <br>評価                    | 標準項目   |             |  |  |
| 四丁川叫                      | ほぞり日<br>1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している  | )           |  |  |
| <ul><li>あり O な</li></ul>  |  | 〇非該当        |  |  |
| 7 I T                     | 2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善  |             |  |  |
| <b>●</b> あり <b>○</b> な    | に子かナ仏知りた乳はずいる  | 〇 非該当       |  |  |
| 9 00 C 18                 | S Company of the Property of t | 0 非該ヨ       |  |  |
| A A                       | 3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる   |             |  |  |
| <ul><li>あり 〇 な</li></ul>  |  | 〇 非該当       |  |  |

#### カテゴリー5の講評

# 職員の質の安定確保とレベルアップに向けた人材育成と人材採用が適宜行われている

求人に関しては、法人のホームページを利用し、専門職ごとに募集している。園の理念に沿った人材獲得のために、面接を実施し、採用を行っている。職員の総合的な育成は、保育力向上リーダーを設けて園の理念や基本方針の繋がる「非認知能力」など勉強会をしている。地域貢献リーダーを設けて地域の方と本園の子どもの親子との交流をしている。園の人材育成計画と整合させ、その育成計画に基づき職員一人一人の育成を職務分担表で職責の職務内容を明示している。賞与の査定は、職員面談で仕事の評価を説明し、今後の課題を一緒に検討している。

# 策定された人材育成計画に人材育成基本方針とキャリアパスの説明が行われている

策定された人材育成計画の人材育成基本方針としてキャリアパスの解説と人事考課制度の説明を職種別に詳しく説明している。中期事業計画に基づき、職員個々の作成する自己目標シート等での自己目標や研修希望を把握しながら策定される人材育成計画は人材育成計画表によって示されている。特に、キャリアパスを職員にわかりやすく説明する取組や、法人のキャリアパスと園の育成方針を連動させた人材育成計画の策定の面では課題が見られる。人材育成計画を作成し、個人面談による自己課題、自己評価をもとに指導、改善に取り組んでいる。

# 理念や基本方針などの実現に向けて組織力を発揮、強化できるよう仕組みを整えている

職員の日頃の気づきや工夫のアイデア等を生かすため、定例会議、面談、日々の保育の中で気づきに対して話し合う場を設け、様々な意見交換が行われている。保育カリーダー、地域貢献リーダーを設けて、職員の育成・評価と処遇などと連動させている。研修後は、研修報告書を作成し、報告書を全職員で閲覧している。また、職員会議内で、発表する場を設け共有している。チームでの活動が効果的に進むように、行事の担当者を挙手とすることで自覚と責任の質の向上を図り、メンバーや職員の組み合わせには協働関係の幅が広がるように配慮している。

#### カテゴリー7

7 事業所の重要課題に対する組織的な活動

#### サブカテゴリー1(7-1)

事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている

#### 評価項目1

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)

#### 前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

昨年度は、園長と職員が良好な関係性を築いた上での職員指導が成り立ち、保育の質の向上、保育園の発展、入園者の増加に繋げることを重要課題として捉え、重点目標に、職員全員と園長が一日に一回は会話することを掲げた。昨年度の重点施策として、職員が話しやすくあるために園長は毎日表情や情緒、機嫌の安定、職員全員に敬語で話すことに取り組んだ。その結果、重点目標に掲げたことが100%達成できなかった。その原因として考えられることは、目標設定や取組などのプロセスで改善すべき点として、挨拶だけで一回の会話とくくってしまったことが少なくなく、挨拶だけでは現実的に職員のことを理解するには程遠いことを明らかにしている。こうした一連の取組を検証し、今年度に向けて、これまでは周知事項を主任に直接伝え、主任から職員へ伝えていたが、園長自らの言葉で直接職員に伝えていくことで、園長と職員の距離を縮め、コミュニケーションの手段の「会話」に慣れる下地作りに拡げた取組に発展させている。

# ■ 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った □ 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった □ 具体的な目標が設定されていなかった □ 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った □ 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) □ 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である □ 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた □ 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない □ 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない □ 改立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

# 評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

重点目標に、職員全員と園長が一日に一回は会話することを掲げ、職員が話しやすくあるために園長は毎日表情や情緒、機嫌の安定、職員全員に敬語で話すことに取り組んだ。その結果、100%達成できなかった。その原因として考えられることは、目標設定や取組などのプロセスで改善すべき点として、挨拶だけで一回の会話とくくってしまったことが少なくなく、挨拶だけでは現実的に職員のことを理解するには程遠いことを明らかにしている。今年度に向けて、これまでは周知事項を主任に直接伝え、主任から職員へ伝えていたが、園長自らの言葉で直接職員に伝えていくことで、園長と職員の距離を縮め、コミュニケーションの手段の「会話」に慣れる下地作りに拡げた取組に発展させているので、期待している。

# 評価項目2

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)

#### 前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

昨年度は、地域貢献活動を充実させることを重要課題として捉え、重点目標にSNS活動を一週間に一回配信することを掲げた。重点施策として、配信内容の幅を広げる工夫に取りくんだ。その結果、重点目標に掲げたことが100%達成できた。その要因としては、担当職員が責任をもって配信したことや、少しでも自園の良い面が外部に伝わることを狙うために、園長が折を見て配信したい内容を依頼し、その連携が上手く機能したことが達成に繋がったことと考えられる。こうした一連の取組を検証し、今年度に向けて、地域への発信を充実させ、自園の周知、見学者の増加に拡げた取組に発展させている。

| 目標の設定と取り組み | ● 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った                      |
|------------|--|
|            | ○ 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった              |
| 7× 7/1007  | ○ 具体的な目標が設定されていなかった                                |
|            | ● 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った                          |
| 取り組みの検証    | ○ 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) |
|            | ○ 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である                     |
|            | ● 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた                         |
| 検証結果の反映    | ○ 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない                      |
|            | ○ 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である                     |

#### 評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

重点目標にSNS活動を一週間に一回配信することを掲げ、配信内容の幅を広げる工夫に取りくんだ。その結果、100%達成できた。その要因としては、担当職員が責任をもって配信したことや、少しでも自園の良い面が外部に伝わることを狙うために、園長が折を見て配信したい内容を依頼し、その連携が上手く機能したことが達成に繋がったことと考えられる。今年度に向けて、地域への発信を充実させ、自園の周知、見学者の増加に拡げた取組に発展させているので、期待している。

〔サービス分析:認可保育所〕 令和5年度

《事業所名:株式会社MIRATZMIRATZ目白台保育園》

# Ⅱ サービス提供のプロセス項目(カテゴリー6-1~3、6-5~6)

| No. |  | 共通評価項目   |   |        |
|-----|--|--|---|--------|
|     |  | サブカテゴリー1   |   |        |
| 1   | サービス情報の  | 提供   | サブカテゴリー毎の<br>標準項目実施状況                           | 4/4    |
|     | 評価項目1<br>利用希望者等に   | 対してサービスの情報を提供している  | 評点(0000)  | ı      |
|     | 評価   | 標準項目   |   |        |
|     | <b>●</b> あり <b>○</b> なし  | 1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している                                 | 3   | 〇 非該当  |
|     | <b>●</b> あり <b>○</b> なし  | 2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわ                                  | かりやすいものにしている                                    | 〇非該当   |
|     | <b>●</b> あり <b>○</b> なし  | 3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している                                       |   | 〇非該当   |
|     | <b>●</b> あり <b>○</b> なし  | 4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個                                  | 別の状況に応じて対応している                                  | 〇非該当   |
|     |  |  |   |        |
|     | 園は見学、体験る。園のパンフレ  | 利用、離乳食体験、行事参加など最新の情報を各種SNSやホームペールントは区役所や公園、児童館など近隣の公共施設に設置しており、利 | - ・・・・<br>-ジに掲載して地域の保護者へ向けて<br>用希望者は園の情報を入手すること | ができる。園 |
|     | サービス情報の提供 サブカテゴリー毎の 標準項目 1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している PF点(OOOO PF価 |  |   |        |

| L                       | サブカテゴリー2   |      |
|-------------------------|--|------|
| サービスの開始・                | ・終了時の対応 サブカテゴリー <b>毎の</b> 標準項目実施状況               | 6/6  |
| 評価項目1<br>サービスの開始に       | にあたり保護者に説明し、同意を得ている<br><b>評点(〇〇〇</b> )           |      |
| 評価                      | 標準項目   |      |
| <b>●</b> あり <b>○</b> なし | 1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している     | 〇非該当 |
| あり ○ なし                 | 2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている                   | 〇非該当 |
| <b>●</b> あり <b>○</b> なし | 3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している              | 〇非該当 |
| 評価項目2<br>サービスの開始か       | 及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている<br><b>評点(〇〇〇)</b>   |      |
| 評価                      | 標準項目   |      |
| <b>●</b> あり <b>○</b> なし | 1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している | 〇非該当 |
| <b>●</b> あり <b>○</b> なし | 2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している           | 〇非該当 |
| <b>●</b> あり <b>○</b> なし | 3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている | 〇非該当 |
|                         | サブカテゴリー2の講評                                      | L    |

# 保護者にとっても分かり易いサービス提供が実現されている

入園に向けて、生活面、食事面、特徴、預かり時間等、様々なヒヤリングをするための面談日を設け、重要事項説明書に関しては、園長が読み合わせを行っている。サービス開始時の保護者に対し、一人一人の状況に応じた基本的ルール、重要事項等の説明方法を工夫している。特に、入園に向けた面談日の設定や、園長による重要事項説明書の読み合わせは、保護者が理解しやすいよう配慮されている。また、面談内容と所要時間を事前に伝えることで、保護者が心づもりを持つことができるよう配慮している。

#### 開始直後は個々の不安とストレスへの対応と、保護者との信頼関係の構築を図っている

保育サービス利用開始直後の子どもや保護者が感じる不安やストレスは、一人一人異なり、その対応も個別に行っている。特に、園長自らが子育て経験を含めた声掛けをして、現代の子育ての大変さ、母親が頑張っていることを十分に評価するという取組は、保護者との信頼関係を築く上で非常に有効である。また、子どものお気に入りのタオルなどを持ち込む、保護者のリフレッシュ休暇の受け入れなど、個々に添ったサービスの提供を実現している。これらの取組により、保護者の要望が満たされ、保育園生活に安心感をもてるようになっている。

# 保護者との良好な関係を維持し、サービスの質をさらに向上させることが期待できる

保育の終了時には、これまでと同水準のサービスを維持できるのかなどの一人一人の不安に対し、一人一人のニーズや状況に合ったアドバイスや関係機関との連携が行われている。特に、自園に通わなくなったとしても地域の保護者を支え続けるという解釈で引き続き気軽に来園、電話等で相談に対応していくことを伝えている。また、地域住民として区役所、子育て広場等の公共の利用を進めていくという取組も、地域との連携を強化し、保護者の支援を継続している。

|                         | サブカテゴリー3   |          |
|-------------------------|--|----------|
| 個別状況に応じた                | た計画策定・記録 サブカテゴリー毎の<br>標準項目実施状況   | 13/13    |
|                         | に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題<br>ス場面ごとに明示している <b>評点(〇〇〇)</b>  |          |
| 評価                      | 標準項目   |          |
|                         | 1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している   | No.      |
| ● あり 🔾 なし               |  | O非該当     |
|                         | 2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している  | 1        |
| ● あり 🔿 なし               |  | 〇非該当     |
|                         | 3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている   |          |
| ● あり 🔵 なし               | AT A CASE AT AS OF IMPROVED COUNTY MAY WAS A CASE A CASE   | 〇 非該当    |
| 評価項目2<br>全体的な計画や        | ・<br>子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している<br><b>評点(〇〇〇〇〇)</b>  |          |
| 評価                      | 標準項目   |          |
| あり ○ なし                 | 1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している   | 〇非該当     |
| ● あり ○ なし               | 2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、保育の過程を踏まえて作成、見直<br>しをしている  | 〇非該当     |
| <b>●</b> あり <b>○</b> なし | 3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画<br>の作成、見直しをしている  | 〇非該当     |
| 7                       | 4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している   |          |
| <b>●</b> あり <b>○</b> なし | WAS NOT THE WAY WITH THE RESERVE OF THE POST OF THE  | 〇 非該当    |
|                         | 5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたうえで、必要に応じて見直している   | Con      |
| 📵 あり 🔿 なし               | A) 18 26 1 MIRA AND ALLES (A) A 186 LA 186 L | 〇 非該当    |
| 評価項目3<br>子どもに関する詞       | ・<br>記録を適切に作成する体制を確立している<br><b>評点(〇〇)</b>  |          |
| 評価                      | 標準項目   |          |
|                         | 1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある  | 4        |
| ● あり 🔾 なし               |  | 〇 非該当    |
| <b>あり</b> なし            | 2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している  | 〇非該当     |
| 評価項目4                   | 10 CO  | O PERS - |
|                         | に関する情報を職員間で共有化している <b>評点(〇〇〇</b> )   |          |
| 評価                      | 標準項目   |          |
|                         | 1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している  |          |
| ● あり 🔾 なし               |  | 〇非該当     |
| <b>●</b> あり <b>○</b> なし | 2. 子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報について、職員間で申し送り・引継ぎ等を行っている  | 〇非該当     |
| <b>●</b> あり <b>○</b> なし | 3.子ども一人ひとりに対する理解を深めるため、事例を持ち寄る等話し合う機会を設けている  | 〇非該当     |
|                         | サブカテゴリー3の講評  |          |

# 保護者との連携を深めて個々の状況を把握し、記録に残すしくみを整えている

入園時の面談や送迎時のコミュニケーション、連絡帳などで子ども一人一人の生活状況や心身状況などを把握し、保育システムを活用した日誌に記録している。保護者からの要望も日誌や引継ぎ簿に記録し、状況を考慮して面談を行った際には面談記録にも残して、職員間で共有しながら日々の保育に反映している。個々の成長や日々の保育対応の基盤となる指導計画は、年齢毎、書式毎に定められた時期に定期的に振り返っており、新たな計画を策定している。

# 個々の成長や保育の方向性を保護者とも共有して保育にあたっている

保育所保育指針と法人の保育理念・方針・目標を反映した全体的な計画を基に、各種年間指導計画を綿密に策定し、月間指導計画や週 案・日案は連動した書式を活用することで保育計画を日々の生活に反映しやすいように工夫している。年間のクラス目標や子ども達の様 子は保護者会でも伝えていますが、個々の成長や保育の方向性は個人面談にて保護者と共有しています。面談を行う際には個人の記 録や目標を参照にして行い、面談の結果も個人別指導案に反映している。保護者にはクラスだよりや週案を掲示して伝えている。

# 定期的な振り返りや職員間の連携を深めて子ども達の成長を見守っている

当園は月単位で振り返りの記録を残し、養護・教育・健康・喫食状況などのほか、保育所保育指針に基づいた3つの視点から成長を捉えるように配慮している。当園では、全職員ですべての子どもを見守っていく体制が整えられており、園側からのコメントを記載した連絡帳を事務所の前に設置して他クラスの子どもの連絡帳にも目を通している。また、子どもに対しての気づきを語り合うミーティングの充実を図り、保育計画や個人別指導計画にも全職員での気づきを反映させている。

|     |                         | サブカテゴリー5  |      |
|-----|-------------------------|---|------|
| 5   | プライバシーのイ                | 保護等個人の尊厳の尊重 サブカテゴリー <b>年の</b> 標準項目実施状況                | 5/5  |
|     | 評価項目1<br>子どものプライバ       | バシー保護を徹底している<br><b>評点(○○)</b>                         |      |
|     | 評価                      | 標準項目  |      |
|     | <b>●</b> あり <b>○</b> なし | 1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要が生じた場合には、保護者の同意を得るようにしている | 〇非該当 |
|     | ● あり ○ なし               | 2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている                               | 〇非該当 |
|     | 評価項目2<br>サービスの実施        | ・<br>にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している<br><b>評点(〇〇〇)</b>   |      |
|     | 評価                      | 標準項目  |      |
|     | <b>●</b> あり <b>○</b> なし | 1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している                            | 〇非該当 |
|     | ● あり ○ なし               | 2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている                      | 〇非該当 |
|     | あり ○ なし                 | 3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている         | 〇非該当 |
| لــ |                         | サブカテゴリー5の講評   |      |

# 子どものプライバシーと尊厳を守るための施設の取組が行われている

子どもに関する情報を外部とやりとりをする必要が生じた場合には、保護者の同意を得るために、入園時に、配信物、写真、顔の掲載の不可の意思確認をしている。また、書類の取り扱いは鍵付きのキャビネットで保管している。職員は全員入職時に守秘義務の誓約書を交わしている。子どもの羞恥心に配慮した保育は、小さな子どもだから気にならないという考え方をしないこと。またおむつ交換は子ども用トイレで行い、衣服の着脱は上下同時に脱がせないように配慮を行っている。子どもに言葉かけやスキンシップを図り、子どもの気持ちを尊重している。

#### 子どもと保護者の価値観に配慮した保育と職員の研修による虐待防止に取り組んでいる

子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行うには、子どもの言動には必ず理由があるという大前提を保育士が理解し、楽しい表情、機嫌の悪い様子、泣いていることに寄り添い落ち着くのを待つこと。また保護者の価値観を傾聴してストレスのない保育園生活が送れる保育を行っている。虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めるために、全国保育士協会 虐待防止のセルフチェックシートの活用を行っている。また園長、各職員の研修や勉強会の情報を共有することで全職員が知識の向上を図っている。

| - w == w == 1=                            | サブカテゴリー6  |      |
|---|---|------|
| <b>事業所業務の標</b>                            | 準化 サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況   | 5/5  |
| 平価項目1                                     |   |      |
| ≦引書等を整備                                   | し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている  |      |
|   | 評点(〇〇〇)   |      |
| 評価  | 標準項目  |      |
| <b>●</b> あり <b>○</b> なし                   | 1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている   | 〇非該当 |
| <b>)</b> あり <b>()</b> なし                  | 2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている  | 〇非該当 |
| <b>)</b> あり <b>()</b> なし                  | 3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している  | 〇非該当 |
|   | <br>  シャン・マート   大学   大学   大学   大学   大学   大学   大学   大  |      |
| ービスの向上を                                   | をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている <b>評点(〇〇)</b>   |      |
|   | <b>評点(OO)</b>   |      |
| ナービスの向上を                                  | 評点(〇〇)  | 〇非該当 |
| ナービスの向上:<br>評価<br><b>③</b> あり <b>○</b> なし | <b>評点(OO)</b>   | 5.0  |
| ナービスの向上:<br>評価<br><b>③</b> あり <b>○</b> なし | 評点(〇〇) 標準項目 1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている 2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子                  | 3.0  |
| 評価<br>● あり <b>○</b> なし                    | 評点(OO) 標準項目 1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている 2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている |      |

提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しは、年2回運営委員会を実施するタイミングで行っている。その際は事前に保護者アンケートをとり、保護者が園に求めていることを把握するように努めている。アンケートの集計結果を上期と下期それぞれ公にして、保護者のニーズに応えられる内容は速やかに対応しながら、より良い内容となるように更新を行っている。また、職務を効率的に全うするために、より良いやり方を提案する職員の声などを拾い上げていくことにも努めている。

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリー6-4)

|   |                         | サブカテゴリー4   |       |
|---|-------------------------|--|-------|
|   | サービスの実施                 | 項目 サブカテゴリー毎の<br>標準項目実施状況   | 35/35 |
| 1 | 評価項目1<br>子ども一人ひとり       | の発達の状態に応じた保育を行っている<br>評点(〇〇〇〇〇)                                    | ・非該当1 |
|   | 評価                      | 標準項目   |       |
|   | <b>●</b> あり <b>○</b> なし | 1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている                  | 〇非該当  |
|   | ● あり ○ なし               | 2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している             | 〇非該当  |
|   | あり ○ なし                 | 3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している                    | 〇非該当  |
|   | あり ○ なし                 | 4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している | 〇非該当  |
|   | <b>●</b> あり <b>○</b> なし | 5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている           | 〇非該当  |
|   | <b>〇</b> あり <b>〇</b> なし | 6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】<br>小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している        | ● 非該当 |
|   |                         | 評価項目1の講評   |       |

# 個々の成長や保育の方向性を保護者とも共有して保育にあたっています

保育士、看護師、栄養士の各専門家が協力して、子どもたちの日々の様子を観察し、その情報を共有することで、子どもの現状を把握することができている。また、保護者からの報告や申し送りを活用し、子どもたちの家庭での様子や健康状態を理解している。保育士は子どもたちの遊びや学びの様子を、看護師は子どもたちの健康状態を、栄養士は子どもたちの食事の様子をそれぞれ観察し、その情報を共有することで、子どもたち一人一人の現状を多角的に把握することができている。

#### 一斉保育と自由保育の適材適所な取り入れと環境づくりに励んでいる

当園では一斉保育と自由保育を適材適所で取り入れることで、子どもの思いや興味の探求を尊重する機会を増やしている。具体的にはコーナー保育では子どもが自分で遊びたいことを選べる環境を提供し、一斉保育では保育者が子どもの成長と興味に添った保育を提供している。また、子どもが興味や関心を持って関われる環境を作るために、保育所ではさまざまな工夫を行っている。保育所の設備だけでなく、人的環境や物的環境にも配慮している。人的環境では、担任やそれ以外の職員、友だちとの関わりを大切にし、物的環境では、玩具や遊具等を工夫している。

# 子どもを観察し傾向と特性を把握することで、噛みつき等のトラブルを事前に防いでいる

当園は噛みつき等が起きる背景や原因、当該児の思いに寄り添い、理由を知ることで、次の段階では行動が出そうなときに回避する保育 方法を模索している。これは、子ども同士のトラブルに対して、子どもを受容し適切な保護、世話を行うような工夫を行っている。また、朝 夕の合同保育の時間を設けて、年齢別クラスの関係なく異年齢の子どもたちが同じ空間で過ごすことにより、他児から様々な影響を受け る機会を提供している。これにより、子どもたちは自分自身とは異なる生活習慣や文化、年齢等の違いを体験し、それらを尊重する心を育 てることができる。

# 

#### 評価項目2の講評

#### 子どもたちの健康状態を適切に管理し子どもたちが安心して過ごせる環境を提供している

4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている

当園では、登園時に保護者等から家庭での子どもの様子を確認し、その情報を一日の保育に反映している。検温確認と口頭で子どもの健康状態を保護者と共に確認し、その結果を各書類に記載して周知している。これにより、保育者全員が子どもの健康状態を把握し、適切な保育を提供することが可能となっている。また、目に見える体調の他に、甘えや機嫌の悪さがある場合は、保護者に心当たりの内容を確認し、その情報を保育の配慮事項としている。これにより、子ども一人一人の感情やニーズを理解し、それに応じた保育を提供することができる。

#### 身の回りの習慣が健康に生活するために必要であることを援助しながら行っている

当園では、看護師によるレクチャーや保育士による子どもの興味を引きながら遊びの中で、食事、排せつ、着替え、歯磨きなどの生活に必要な基本的生活習慣の大切さを自然に身につけている。また、子どもの発達状況に合わせて、その大切さを伝え、意欲的に身につけられるような援助や工夫を行っている。これにより子どもたちは自分で身の回りの行為ができるようになっていくことを見守ることができる。これらの取組により、当園では子どもたちが自分自身の健康を管理するための基本的な生活習慣を身につけ、それを維持することができるようになっている。

#### 子どもの日中の様子を申し伝えることで、保護者の安心感へ繋げる取組を行っている

保護者にはタブレットによる一日の生活記録の他、印象深かったその日のエピソードを伝え忘れの無いよう、保育士の自覚と、申し送りの登降園ボードを活用している。これにより、子ども一人一人の一日の状況を保護者に直接伝えるしくみが確立されている。このしくみは、保育所から子どもの個別の状況を、保護者に対して説明する取組であり、対面だけに限定せず、工夫されている。これらの取組により、子どもたちの日々の成長と発展を保護者と共有し、保護者の安心感を高めることができている。

#### 3 評価項目3

あり () なし

日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している

#### 評点(00000)

〇 非該当

| 評価                      | 標準項目  |       |  |  |  |
|-------------------------|---|-------|--|--|--|
| <b>●</b> あり <b>○</b> なし | 1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている   | 〇 非該当 |  |  |  |
| <b>●</b> あり <b>○</b> なし | 2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している   | 〇 非該当 |  |  |  |
| <b>●</b> あり <b>○</b> なし | 3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉(発声や喃語を含む)や表情、身振り等による応答的なやり取りを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している | 〇 非該当 |  |  |  |
| <b>●</b> あり <b>○</b> なし | 4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている  | 〇 非該当 |  |  |  |
| <b>●</b> あり <b>○</b> なし | 5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている                                 | 〇 非該当 |  |  |  |
| <b>●</b> あり <b>○</b> なし | 6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している                        | 〇非該当  |  |  |  |

# 評価項目3の講評

#### 子どもの自主性と自発性を尊重し、集中して遊びこめる時間や空間を提供している

当園では朝の合同保育の時間帯にコーナー保育を設け、複数の遊びの中から子どもが自分で遊びを選ぶことができる。また、午後は子どもの希望を取り入れながら、朝の玩具とは違う傾向の遊びが提供できるように計画を立てている。これにより、子どもたちは自分の興味や好奇心に従って遊びを選び、自主性と自発性を育てている。自由遊びの時間帯などでは、子どもが自ら様々なものに関わったり、静かに過ごすことができるようにしている。保育においては、身の回りのものに親しみ、様々なものに興味関心を持てるように環境を工夫している。

#### 子どもが言葉や表情、身振り等による応答的なやり取りを楽しむことができている

当園では、子どもの個別の状況に応じて、保育者が声掛けやスキンシップを行い、子どもの言葉の応答や代弁等を子どもの発達に合わせて適切に対応している。また、保育者は表情を豊かにし、視覚や聴覚から子どもの言葉の獲得に働きかけている。さらに、月の歌、行事の歌、リズムあそびを通じて、体を動かす楽しさや音やリズムに合わせる楽しさを引き出している。当園では、事象に関わる制作物を通じて、季節の移ろいに触れる機会を提供しています。また、クレヨン画の定期的な掲示により、子どもの成長の変化を可視化している。

#### 当園では子どもたちが安心して成長できる環境を提供している

当園の戸外活動は単なる外遊びではなく、子どもが身の回りの環境の変化を体験できる。吹く風の冷たさや暖かさ、葉や花の色の変化、太陽の光など、季節の移り変わりを直に感じることで、子どもたちは自然とのつながりを深め、情緒を育てている。また、生活の中には様々なルールがあることを理解させ、それを他児との関わりの中で自然に学んでいくようにしている。また、この時期の子どもたちはまだ自分の気持ちや憤りを自分で管理することが難しいため、保育者が仲立ちに入り、相応しい言葉がけをすることで、子どもたちの社会性の成長を促している。

| 評価項目4<br>日常の保育に変          | 化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している                                      |      |
|---------------------------|---|------|
|                           | 評点(000)   |      |
| 評価                        | 標準項目  |      |
| <b>●</b> あり <b>○</b> なし   | 1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している               | 〇非該当 |
| <ul><li>あり ○ なし</li></ul> | 2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している                     | 〇非該当 |
| あり ○ なし                   | 3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている | 〇非該当 |

#### 評価項目4の講評

#### 各年齢の子どもたちが自分たちの発達段階に適した活動を経験することができる

当園では、行事の由来を各学年の理解度に添って伝えることで、子どもたちが行事の意味を理解し、自ら進んで取り組むことができるような環境を提供している。また、行事に向けて1~2週間前からプレ期間を設け、慣れ親しんでから行事当日を迎えることで、子どもたちは期待感を持つことができる。この期間中には、行事に因んだ政策や歌、絵本を通じて、子どもたちの期待感を高める工夫を行っています。さらに、当園では年齢に応じて、行事等の持つ意味を理解できるように工夫している。

#### 当園では子どもたちの成長と発達を最大限に引き出すことができる環境を提供している

当園では、各年齢の発達段階に合わせて行事の由来を伝え、取り組める内容を考えている。これにより、子どもたちは行事の意義を理解し、自分たちの成長につながる経験を積むことができる。また、完成よりも過程に着目し、子どもたちが頑張ってきたことを褒めることで子どもたちは自分の努力を認識し、自己肯定感を育てている。さらに、当園では一つのことを協力し合い、やり遂げることの喜びや楽しさを味わえるような行事を計画し、実施している。これにより、子どもたちは協力することの大切さを学び、共同作業を通じて社会性を育てることができる。

#### 子どもたちの成長と発達を最大限に引き出すことができる環境を提供している

当園では、保護者への協力依頼を行う際に、口頭、玄関のホワイトボードでの通知、手紙配布等の方法を用いて、保護者の理解と協力を得るための工夫を行っている。また、保護者参加型の行事の際には、事前の日程確保調査を行い、親子共に期待感が持てる内容の立案を行っている。これにより、子どもの意欲を引き出すとともに、保護者の理解と協力を得ることができる。さらに、当園では、保護者の理解や協力を得る際に、保護者の個別事情に配慮している。これにより、保護者一人一人が安心して協力できる環境を提供している。

#### 5 評価項目5

保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている

評点(〇〇)

| 評価                        | 標準項目  |       |  |  |
|---------------------------|---|-------|--|--|
|                           | 1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている             | 4     |  |  |
| ● あり 🔿 なし                 |   | 〇非該当  |  |  |
|                           | 2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしてい | 1     |  |  |
| <ul><li>あり 〇 なし</li></ul> | \$  | 〇 非該当 |  |  |

#### 評価項目5の講評

# 当園では子どもたちが安心して成長できる環境を提供している

当園では、長時間を安全に安心して過ごすために、適切な環境設定と人的環境を整えることをねらいとしている。具体的には、室内の空調と換気を整え、落ち着いて遊べる玩具を提供し、保育者が優しい関わりを持つことで、子どもたちは長い保育時間をくつろいで過ごすことができる。

#### 保育の時間が長くなるにつれて合同保育でも楽しく過ごすための工夫を行っている

保育の時間の長い子どもが楽しく過ごすために、日中とは違う、遅番専用の玩具を用意することで、子どもたちに特別感や期待感を促している。これにより、子どもたちは新鮮な気持ちで遊びに取り組んでいる。また、保育担当と一緒に過ごす時間を設けることで、子どもたちは安心感を得ることができ、自分自身のペースで遊びや学びを深めることができている。これにより、子どもたちは長い保育時間でも楽しく、充実した時間を過ごすことができる。

#### 評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している 評点(00000) 標準項目 1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している あり 〇 なし 〇 非該当 2.メニューや味付けなどに工夫を凝らしている あり ○ なし 〇 非該当 3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している 🔘 あり 🔾 なし 〇 非該当 4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている あり 〇 なし 〇 非該当

#### 評価項目6の講評

#### 子どもたちが最適な環境で食事をとることができるよう、様々な工夫と配慮を行っている

当園では午前中の活発な活動で子どもたちが自然と空腹を感じるようにスケジュールを組み、清潔なおむつ交換と手洗いを済ませることで、衛生的な環境を保つようにしている。また、絵本等を用いて戸外活動からのクールダウンを図り、楽しい雰囲気の中で食事が摂れるようにすることで、子どもたちが食事を楽しみ、栄養バランスの良い食事を摂ることができる環境を提供している。これらの取組により、当園では子どもたちが健康的な食生活を送ることができ、その成長と発達を最大限に支えている。

5. 保護者や地域の多様な関係者との連携及び協働のもとで、食に関する取り組みを行っている

#### 子ども一人一人のニーズに応じた献立と安全な提供を確保している

当園では子ども一人一人の状態や嗜好を把握し、飽きのこない献立を立てることを重視している。具体的には、素材の味を感じられるよう 薄味とし、視覚で楽しめる彩り、味を提供し、食に意欲が持てるように工夫している。また、栄養士と給食スタッフ、園長が見回りして子ども の食事の状態を把握している。各行事に合わせた献立と盛り付けで楽しいものとしている。子どもたちは食事を楽しみ、栄養バランスの良 い食事を摂ることができる。さらに、アレルギー除去食、宗教対応食に対応し、マニュアルに添った提供の仕方を遵守して安全を確保して いる。

#### 子どもたちは安全で栄養バランスの良い食事を摂ることができる

当園は、初めての離乳食に対する保護者の疑問に対し、栄養士が実際に離乳食を作り、様々な角度から説明し、回答している。これにより、保護者は子どもの食事に対する理解を深め、安心して子どもの成長を見守ることができる。子どもたちは栄養士の手作りの離乳食を通じて、新たな食事体験を楽しみ、食に対する興味と好奇心を育てている。

#### 7評価項目7

あり 〇 なし

子どもが心身の健康を維持できるよう援助している

評点(000)

〇 非該当

| 評価                      | 標準項目   |       |  |  |
|-------------------------|--|-------|--|--|
| <b>●</b> あり <b>○</b> なし | 1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している              | 〇 非該当 |  |  |
| <b>●</b> あり <b>○</b> なし | 2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている                     | 〇非該当  |  |  |
| <b>●</b> あり <b>○</b> なし | 3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている | 〇非該当  |  |  |
|                         | 評価項目7の講評   |       |  |  |

# 子どもたちが自分の健康や安全に関心を持てるよう、様々な取組を行っている

ヒヤリハットの活用と看護師からの「手洗い」や「風邪予防」についての指導を通じて、子どもたちは風邪防止や怪我防止の方法を自ら学んでいる。また、当園は子どもの成長発達を最大限に促すために、怪我を未然に防ぐことを重視している。そのため、活動内容に合わせた適切な人員配置を確保し、怪我が起こることについての研修を行い、ヒヤリハットの活用を充実させている。さらに、当園では年齢や発達に応じて、子どもの行動範囲や活動形態が変化することに配慮している。

# 子どもの健康を維持するための保護者との連携を重視している

保護者には看護師が発行する保健だよりや健康診断記録を通じて、感染症の情報や罹患防止の対策等を分かり易く伝え、家庭と園が共に子どもの健康維持に努めるようにしている。また、午睡中の安全確保の仕組みや病後の家庭保育の協力依頼について、入園面談時に保護者に伝えている。さらに、当園では乳幼児突然死症候群の予防や、感染症等の罹患中や病後児対応など、特に保護者との協力が必要な事項について、適切な体制のもとで対応している。

#### 評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている 評点(00000) 標準項目 1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている あり 〇 なし 〇 非該当 2. 保護者同士が交流できる機会を設けている あり ○ なし 〇 非該当 3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている 🔘 あり 🔾 なし 〇 非該当 4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている あり 〇 なし 〇 非該当 5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している あり 〇 なし 〇 非該当 評価項目8の講評

#### 当園では保護者との連携を強化し、子どもたちの成長と発達を最大限に支えている

当園では、保育園の役割の一つである保護者支援を十分に担い、保護者のニーズに応えることをねらいとして、給食に関する要望や迎え 時間の変更対応、有給日の保育等、保護者個々の事情を把握し、保護者の立場に立った対応を行っている。また、当園では保護者同士が交流できる機会を重視しており、本来上期下期に一回ずつ実施することが望ましいが、コロナの自粛によりできていない。今後は保護 者会を設けて保護者同士が関われる場を設けることを計画している。親子参加型の行事や運営委員会を通じて、保護者の関わりを深め る機会を提供している。

#### 当園では保護者の養育力を向上させるため、保護者の参加を促す工夫を行っている

当園では、子どもの発達や育児に関して、保護者と保育所が共通認識を得るための取組として、園だより、クラスだより、保健だより、給 食だよりを通じて翌月の予定を伝えている。また、週日案は玄関ボードに掲示して子どもの一日の様子を把握することで、保護者が安心 して仕事に迎えるように工夫している。また、保育参観や保育参加、各保護者参加型行事を通して、保護者が園に行き来し、家とは違う環 境での我が子を知る機会を提供している。これにより、保護者は我が子の別の一面を知ることができ、客観的に我が子を見る機会を得る ことができる。

#### 保護者と職員の信頼関係の維持は、毎日の申し送りと誠心誠意の対応を心掛けている

保護者と職員の信頼関係を築くために、毎日の登降園の時に十分なヒヤリングとこちらからの申し送りの積み重ねを行い、お互いに人と なりの理解に近づいている。また、怪我を防げなかった場合等には、どんなに懇意に慣れてきている関係性であっても誠心誠意謝罪する ことで、保護者との信頼関係を維持し、さらに深めることに繋げている。

#### 9 評価項目9

地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている

評点(〇〇)

| 評価                      | 標準項目   |      |  |  |
|-------------------------|--|------|--|--|
| <b>●</b> あり <b>○</b> なし | 1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している                     | 〇非該当 |  |  |
| <b>●</b> あり <b>○</b> なし | 2. 園の行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している | 〇非該当 |  |  |

#### 評価項目9の講評

# 子どもの発達の状態や状況を考慮し地域のさまざまな資源を活用する機会を提供している

近隣の公園を十分に活用することで、子どもたちは土地勘に慣れ、自然との親しみを深めている。また、児童館や近隣園との交流を持つ ことで、子ども同士の関わりを持たせ、今年度の自園の在園児の少なさから他児との関わりが薄くなる部分を補っている。これにより、子 どもたちは他の子どもたちとの交流を通じて、社会性を育てることができる。これらの取組により、当園では子どもたちが安心して成長でき る環境を提供している。

#### 子どもが保育所の職員以外の人と交流する機会を大切にしている

当園はSNS配信や自園の外壁のポスターを通じて地域の保護者へ行事の参加を募り、自園の取り組みを広く知ってもらうことをねらいと している。散歩時に懇意に声をかけてくれる地域の方々や老人福祉施設との交流を持つことで、地域に根付き、安心して保育園運営がで きる機会を設けている。これにより、子どもたちは地域社会とのつながりを感じ、社会性を育てることができる。地域の一部として認識さ れ、地域全体で子どもたちの成長と発達を支えている。

| 事業者が特に力を入れている取り組み① |                                 |  |  |  |  |  |
|--------------------|---------------------------------|--|--|--|--|--|
|                    | 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している        |  |  |  |  |  |
| 評価項目               | 6-1-1                           |  |  |  |  |  |
|                    |                                 |  |  |  |  |  |
| タイトル①              | ホームページの他に動                      | ■サイト・SNSなど積極的に活用して情報発信している   |  |  |  |  |
| 内容①                | した情報発信は、地域 $\sigma$ く伝えたい思いが窺える | 子、保育園体験情報などについてはSNSを活用して積極的に発信している。Webを活用<br>の方や利用希望者、保護者などがいつでも閲覧することができるため、園の情報をより広<br>。また、園内で行っている行事の様子は動画サイトを使って通園する家庭限定で配信し<br>でいる様子を動画で見ることができる。SNSや動画サイトを活用し、情報発信の充実を |  |  |  |  |

| 事業者が特に力を入れている取り組み② |                                     |  |  |  |  |
|--------------------|-------------------------------------|--|--|--|--|
| 評価項目               | 6-4-6                               | 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している  |  |  |  |
| タイトル②              | 2歳児を中心に様々な食                         | :<br>育に取り組み調理体験を通して作って食べることを楽しんでいる   |  |  |  |
| 内容②                | らいとして栽培したミニトマトを使い、枝豆、コーン行った。自分たちが作っ | ことでいろいろな野菜に興味を持ち、自分たちで作った野菜を食べ喜びを味わうことをねってトを収穫しピザ作りを行っている。一人一人が収穫を体験し午後のおやつは収穫したトル、ベーコン、チーズなどを子ども達がピザ生地に乗せてホットプレートで焼くピザ作りをたピザの焼きあがるいい匂いを経験しみんなで食べる楽しい経験となっている。ポップの日子作りなど様々な調理体験を行い食の営みを知る豊かな食体験に取り組んでいる。 |  |  |  |

| 事業者が特に力を入れている取り組み③ |  |  |  |  |  |
|--------------------|--|--|--|--|--|
| 評価項目               |  |  |  |  |  |
| タイトル③              |  |  |  |  |  |
| 内容③                |  |  |  |  |  |

《事業所名:株式会社MIRATZMIRATZ目白台保育園》

| No.      |  |  |  |
|----------|--|--|--|
| <u> </u> | 子どもが食に興味や関心を持ち食べる楽しさや食する力が育つよう様々な食育に取り組み、子ども |  |  |
| 1        | タイトル   | の様子を保護者にわかりやすく伝えている  |  |
|          | 内容   | 園は食する力の基礎が育つ0~2歳児の年齢に合わせ、経験させたいこと、育てたい力など具体的な実践を踏まえた各年齢別の年間食育計画を作成している。野菜の栽培や収穫、トウモロコシの皮むきなどで食材に触れ、匂いを感じ、調理を見たり体験したりすることで子どもが食に興味関心が持てるようにしている。絵本給食で子どもに人気の絵本を使用した献立作りや盛り付けを行い、行事食、お弁当給食などを取り入れて食を楽しむ経験にしている。食する力や食育の様子を給食だよりやSNSを用いて発信し、保護者にわかりやすく伝えている。                        |  |
| 2        | タイトル   | 子どもたちが「地域の子ども」として大事にされ様々な人との関わりを通して地域の中で豊かに育っていくことを大切にしている   |  |
|          | 内容   | 園は公園の活用や児童館利用、近隣園との交流などを積極的に行い、地域の様々な人と関わりが持てるようにしている。在園児が少ないことから子ども同士の関わりの幅が広がるよう他園との交流や児童館で地域の子どもと触れ合うことを大切にしている。児童館にプレゼントを渡したり近くの商店に買い物に行ったりする事でいろな人に可愛がられる経験をしている。老人福祉施設と交流を重ね、今年度は対面でプレゼンが渡せたことで利用者に大変喜んで貰えており、「地域の子ども」として大切にされ豊かに育つ地域との関係を大切にしている。                         |  |
| 3        | タイトル   | 子ども一人一人を大切にする丁寧な保育に努め、個々の姿を記録すること、職員間で共有することを通して子ども理解に繋げている  |  |
|          | 内容   | 園は「丁寧な保育を実践し、豊かな人間性を持った子どもの育成をする」を保育方針の一つに掲げ、個々の成長、発達に寄り添い子どもの背景なども考慮した丁寧な保育に取り組んでいる。保育士、看護師、栄養士が自分の専門分野の視点で日々子どもたちをよく見、計画の立案や実践、振り返りを行っている。子どもの成長、発達が見えるよう日々子どものありのままの姿を記録し個人案を含む月案を作成して職員会議で全体周知している。毎月の職員会議と毎日の昼礼を通して全職員が子どもの情報を共有し一人一人の子ども理解に繋がる丁寧な保育に努めている。                 |  |
| No.      | さらなる   | らなる改善が望まれる点  |  |
| 1        | タイトル   | 園情報は、ホームページの他にSNSを積極的に活用して情報を発信しているが、利用者の増加に<br>向けたより一層の取組の検討に期待したい  |  |
|          | 内容   | 園の情報は、見学、体験利用、離乳食体験、行事参加など最新の情報を各種SNSやホームページに掲載してこれから保育園の利用を検討している家庭や地域へ向けて発信している。積極的な情報発信をしているが、利用者の増加には繋がっていない。小規模園の良さ、丁寧な保育の提供などこの園がもつ良さや特徴を更に充実させ、地域ニーズを敏感にキャッチし、見学者を増やしていきながら園の良さを地域に浸透できるよう期待したい。  |  |
| 2        | タイトル   | 職員の人材育成にあたり、キャリアパスをわかりやすく示すことに期待したい  |  |
|          | 内容   | 策定された人材育成計画の人材育成基本方針としてキャリアパスの解説と人事考課制度の説明を職種別に<br>説明している。一方、キャリアパスを理解しているかどうかの職員への質問で、わかりにくいと答えている職員<br>もいたことから、例えば昇進していくキャリアのパス(道)が、流れ図のように示されるとわかりやすく伝わるの<br>ではないだろうか。園長との個人面談では、人事考課表に基づく自己課題、自己評価に取り組んでいるが、<br>キャリアパスがわかりやすく示されることで自己啓発意識がより高まり、モチベーション向上に繋がるのではな<br>いだろうか。 |  |
| 3        | タイトル   | 園独自のBCP(事業継続計画)策定と共に、職員へのあらかじめの周知徹底、訓練の実施に期待したい  |  |
|          | 内容   | 園では、感染症や災害などのリスクマネジメントに関するマニュアルを整備し、毎月の避難訓練、ヒヤリハット報告などのリスク対策に取り組んでいる。今後も個人・園レベルで危機管理の向上に取り組み、リスクマネジメントの観点や意図の共有のためにも、ヒヤリハットの更なる積み重ねに期待したい。また、自然災害や感染症、大規模な事故など、不測の事態への備えとして園独自のBCP(事業継続計画)策定と共に、職員へのあらかじめの周知徹底、訓練の実施に期待したい。  |  |
| 1        |  |  |  |